

日本電子音楽協会 第20回記念演奏会

AKUSTISCHE VORDERGRUND AUS JAPAN UND DEUTSCHLAND

# 音響の最前線、日本とドイツより

ゲストコンポーザー  
ルドガー・ブリュンマー

Deconstructing Double District  
for 8-channel audio and video (2011)  
ビデオ:フォルカー・クッヘルマイスター

Spin  
for 8-channel audio and video (2014)  
ビデオ:ヘルント・リンターマン

大谷安宏  
Reverie #4  
for solo Electric Guitar and programming (2016 初演)

門脇治  
失われた声を求めて À la recherche de la voix perdu  
- 管楽器とコンピュータのための (2016 初演)  
アルトサクソフォン:門脇治

仲井朋子  
雨の輪郭 - ピアノとコンピュータのための (2016 初演)  
ピアノ:八島伸晃

林恭平  
電子音響映画《Lemon Candy(Moon Down Action)》(2016)  
音楽・映像:林恭平

水野みか子  
Lipochrome for piano and electronics (2016 改訂初演)  
ピアノ:坂口仁菜

宮木朝子  
Landscape\_Montage\_Technique[f\_visual]  
for video acousmatic (2016 初演)  
映像:馬場ふさこ

由雄正恒  
盗まれた時間  
- クラリネットとコンピュータのための (2016 初演)  
クラリネット:満江菜穂子

2016年12月16日(金)

18:00開演 (17:30開場)

ドイツ文化会館 OAGホール

入場料

当日 3,000円 前売 2,500円

学生 1,500円 ※全席自由

前売は下記のフォームからお申込みください。

<http://www.goo.gl/hkZbD6>



主催 日本電子音楽協会 (JSEM)

後援 先端芸術音楽創作学会 (JSSA)

お問合せ 日本電子音楽協会事務局 [info-jsem@jsem.sakura.ne.jp](mailto:info-jsem@jsem.sakura.ne.jp)

フライヤーデザイン:小坂淳

# 音響の最前線、日本とドイツより

1992年に設立された日本電子音楽協会は、今年で24年目を迎えます。日本電子音楽協会は、コンサートやシンポジウム、時には海外との交流事業を通して日本におけるこの分野のアクティビティを牽引し、またその時々テクノロジーや、美学的、思想的な課題に取り組んできました。

これまで連続と続けられてきた定期演奏会は、今回で20回目となります。この節目に、シュトックハウゼンなどの電子音楽のバイオニアを生みだしたドイツからルドガー・ブリュンマー氏を迎え、ヨーロッパでの最前線を伝えます。

## ■ 出演者

**大谷安宏** 作曲家、ギターリスト。プログラミングによる音楽表現を専門として国内外にて活動。日本作曲家協議会会員、日本電子音楽協会会員、ブルメリアミュージックスクール講師。主な活動歴に、ロックフェラー財団日米芸術交流プログラム助成アーティスト、2015年アルスエレクトロニカ2016' / Forum Wallis入賞、2016年ニューヨーク・フィルハーモニー・ピエンナーレなどがある。



**宮木朝子** 委嘱による器楽作品や光・映像・身体を伴う音響作品などを国内外で発表。近作に映像作家馬場ふさこ氏との共作『残像花』(Blue Blume Award受賞・ICMC2016入選)など。桐朋学園大学、同研究科卒。早稲田大学創造理工学部、洗足学園音楽大学各講師。東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻在籍中。



**門脇治** 1964年塩竈市生まれ。宮城教育大学および同大学院にて作曲を故本間雅夫、吉川和夫の両氏に師事。幅広いジャンルの作編曲を行い、後身の指導にもあたる。平成10年度宮城県芸術選奨新人賞、平成15年度文化庁舞台芸術創作奨励賞入選。日本作曲家協議会、日本現代音楽協会、日本電子音楽協会、宮城県芸術協会各会員。



**由雄正恒** コンピュータによる芸術作品の創作を専門とし、アルゴリズム・コンポジション、音響合成、ライブエレクトロニクス、メディア表現を題材にした創作研究を行っている。電子音響作品は、国内外において演奏される。日本作曲家協議会、先端芸術音楽創作学会会員、日本電子音楽協会理事、昭和音楽大学准教授。http://masatsu.net



**仲井朋子** テクノロジーを軸とした音／音楽作品を発表している。またジャンルを横断した作品も多く、近作に青森EARTH2014(青森県立美術館)、マテリアライジング展Ⅲ(京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA)でのインスタレーションなどがある。国立音楽大学、同大学大学院修了。東京藝術大学芸術情報センター、洗足学園音楽大学各講師。



ゲストコンポーザー



ルドガー・ブリュンマー

(ZKM音楽音響研究センター ディレクター)

1958年ドイツ生まれ。エッセンのフォルクヴァング芸術大学にて、ニコラウス・A・フーバーとダーク・ライスの下で作曲を学び、1991から1993年までドイツ学術交流会(DAAD)給付生として米田スタンフォード大学のコンピュータ音楽音響研究センター(CCRMA)に滞在した。また2000年、ロンドンのキングストン大学の研究員となり、2002年からはベルファストのソニック・アート・リサーチ・センター(SARC)作曲科にて教授をつとめた。2003年より現職。2009年にはベルリンの芸術アカデミー会員に選出されている。これまでに、Folkwang Preis賞、WDR賞、Busoni賞、アルスエレクトロニカにてGoldene Nica賞、Luigi Russolo賞、ICMA Commission賞、ブルジュ国際電子音楽コンクールにて2度の最優秀賞などを受賞。

**林恭平** 1984年福井県で生まれる。2012年、大阪芸術大学大学院作曲コース修了。セツ矢博資、上原和夫、宇都宮泰、楢垣智也に師事する。音楽作品だけではなく、絵画、映像制作も同時に行っている。2015年度 Prix Russolo(フランス)最優秀賞 第1位受賞。2016年度イメージフォーラムヤング・パースペクティブ入選。



**水野みか子** 作曲と音楽学の分野で活動。名古屋市立大学大学院芸術工学研究科教授。管弦楽、室内楽、電子音響音楽、ダンスなどのための作品を国内外で発表。2016年5月には日伊交流コンサート(ベネチア、トレヴィーゾ)にてソプラノとピアノのための『Per acqua chiare』(2016)他を発表。国際音楽学研究組織IREMusメンバーとして電子音響音楽研究を推進。



2016年12月16日(金)

18:00開演(17:30開場)

ドイツ文化会館 OAGホール

〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-56

http://www.oag.jp/jp/kontakt/

## ■ 入場料

【当日】3,000円 【前売】2,500円

【学生】1,500円 ※全席自由

前売は下記のフォームからお申込みください。

http://www.goo.gl/hkZbD6

## ■ アクセス

青山一丁目駅(地下鉄銀座線、地下鉄半蔵門線、都営地下鉄大江戸線)出口4番を出て青山通りを赤坂見附方面に進み、草月会館と高橋是清記念公園の間の道を右折して、100m



主催：日本電子音楽協会(JSEM) http://jsem.sakura.ne.jp/

後援：先端芸術音楽創作学会(JSSA) http://jssa.info/

お問合せ：日本電子音楽協会事務局 info-jsem@jsem.sakura.ne.jp

## ■ 連携企画 インターカレッジ・ソニックアーツ・フェスティバル 2016

http://ic.jssa.info/ 2016年12月10日(土) - 12月11日(日)

会場 名古屋市立大学 北千種キャンパス

主催：JSSAインターカレッジ運営委員会  
後援：名古屋市立大学、名古屋学芸大学

本日プログラムNo. 2に予定されていましたが、「雨の輪郭 - ピアノとコンピュータのための」は、都合により「curvaceousness multi-channel audio」に変更となります。ご了承ください。

日本電子音楽協会

仲井 朋子 NAKAI Tomoko

## curvaceousness

フランクオーゲーリーが建物に曲面を使用し、光を集めたように、音を曲線空間に描くことは可能だろうか？この作品は、高音を素材とし、曲線的に運動する独自のアルゴリズムを設計して時間、空間、スペクトルの統合を試みている。作品中の全ての音響素材は、自身の器楽とライブエレクトロニクス作品に由来している。音響的に特徴のある器楽パートのフレーズを予め部分的に切り取っておき、作品中ではリアルタイムに音声信号処理が施される。これらのフレーズは切り取られた短い時間内を自由な方向、速度で曲線的に運動することが可能であり、元々の演奏情報を保持しつつ新たな音響を獲得して行く。

また音響をマルチチャンネルに展開するため、自由に音像移動可能な6チャンネルのパンナーを作成した。音像の推移時間は、切り取られた時間内での運動時間と共有することで、時間と空間の運動を図っている。更に、スペクトルも同様にこの運動時間を共有し、スペクトル配分が時間的に変化する。曲線的なスペクトルの推移によって通常の演奏方法では強調されることのない部分音が引き出され、同時に時折本来の楽音の姿が見え隠れすることを想定しプログラムされている。

### プロフィール

神奈川県生まれ、作曲家。音響が生成される瞬間への関心から、コンピュータを介したパフォーマンス的な作品に注目してきた。主に器楽とライブ・コンピュータ・システムのための作品を制作。近作は、青森EARTH201（青森県立美術館）でのインスタレーション、マテリアライジング展III（京都市立芸術大学ギャラリー@KGUA）での展示、またOPEN SITE 2016-2017（トーキョーワンダーサイト）にて Decibel New Music Ensemble と2日に渡るコンサートを企画、新作公演など様々な領域で活動している。国立音楽大学大学院音楽研究科修了。現在、東京藝術大学芸術情報センター、洗足学園音楽大学客員講師。

日本電子音楽協会 第20回記念演奏会  
AKUSTISCHE VORDERGRUND AUS JAPAN UND DEUTSCHLAND

# 音響の最前線、日本とドイツより

2016年12月16日(金)

18:00開演(17:30開場)

ドイツ文化会館 OAG ホール

1992年に作曲家、研究者、技術者らによって設立された日本電子音楽協会(JSEM)は発足以来、日々刷新されるテクノロジーと音楽/芸術との新しいあり方を社会に問い続けてきました。そして毎年行われきた定期演奏会はもとより、2013年に開催された創立20周年記念事業「時代を超える電子音楽」コンサートとシンポジウム、若手会員の活動を紹介する新企画「電子音楽なう!」シリーズなど、近年さらにその活動の幅を広げ、昨年の「サラマンカホール電子音響音楽祭」では、JSEM第19回定期演奏会「響きあうバロックと現代」及び、先端芸術音楽創作学会(JSSA)と共催するスペシャルコンサート「テクノロジーと『作曲』の未来」という2つのコンサートが行われました。

そして今年の第20回記念演奏会は「音響の最前線、日本とドイツより」と題して作曲家であり、ZKM音楽・音響研究センターのディレクターでもある、ルドガー・ブリュンマー氏をゲストに迎え、このコンサートのために8チャンネルに再構成された氏の近作を、世界的に活動を続ける会員作曲家たちの新作初演を含む作品と共に紹介します。

電子音楽、ミュージック・コンクレート、コンピュータ音楽、アコースマティックなど様々な名で呼ばれてきた「電子音響音楽」は、今や特殊なものではなく、望めば誰もが実践できる身近な「音楽」になりました。そこで問われているのは、作曲家たちが新しいテクノロジーを「使った」音楽を創れるかどうかではなく、新しいテクノロジーの「中で」音楽そのものを新たに定義し直すことができるかどうかなのです。「今まで」の音楽が「これから」の音楽とどのように結び合うのか、作曲家たちからのアクチュアルな回答にご期待ください。

日本電子音楽協会(JSEM) 会長 三輪眞弘

# 門脇 治 KADOWAKI Osamu

## 失われた声を求めて À la recherche de la voix perdu

- 管楽器とコンピュータのための (2016 初演)

アルトサクソフォン：門脇 治

2014年、神戸で開催された「電子音楽なう」において、『テープのための音楽』という作品を発表、自らパフォーマンスを行った。作曲家自らが自分自身を粘着テープで身動きできないようにしていくという内容のパフォーマンスであったが、奇しくも様々なものに縛られ閉塞感に溢れる作者の心情を表したものと捉えることができた。さて、その様な心情を表出したものを作品と呼べるのか。尤も何をするにしても表現者が如何なる人物なのか作品や演奏に現れるとするならば肯定しても構わないのだが、今回のモノは更に個人的な表現である。

現在私は、反回神経麻痺により正常に発声することができない。声を出さずに静かに過ごしている分にはさほど困らないが、社会的には肉声への憧れを抱きながら生活を送っている。この様をブルーストの「失われた時を求めて」に擬えて「失われた声を求めて」と題したパフォーマンスを行う。小説との関連はない。作曲家自身が楽器を吹奏するが、楽器としての機能ではなく、呼吸を伴う一つの発音装置として位置づけられる。見た目は電子音楽の体をなしているが、果たして音楽と呼べるものとなるだろうか。



### 門脇 治 プロフィール

1964年塩竈市生まれ。宮城教育大学および同大学院にて作曲を故本間雅夫、吉川和夫の両氏に師事。電子音楽はほぼ独学。幅広いジャンルの作編曲を行い、後身の指導にもあたる。プレーヤーとしては定禅寺ストリートジャズフェスティバルに初回から出演するなどストリートや地域のイベント、ライブハウスでの出演が多い。平成10年度宮城県芸術選奨新人賞、平成15年度文化庁舞台芸術創作奨励賞入選。日本作曲家協議会、日本現代音楽協会、日本電子音楽協会、宮城県芸術協会各会員。

# 仲井 朋子 NAKAI Tomoko

## 雨の輪郭

- ピアノとコンピュータのための (2016 初演)

ピアノ：八島 伸晃

この作品は、実際の雨の音を聴き取りピアノの鍵盤上にトレースすることから考えはじめた。雨音の聴取はコンピュータによるもので、自作したプログラムの中から3つの方法を採用している。3つのプログラムは、3つのセクションにそれぞれ反映しているが、聴感上は壮大なグラデーションになるよう作曲された。リズム、強弱、密度は雨の降っていた輪郭のままに、音高だけをピアノの属性と必然性に準じて置き替え、実際の雨によるピアノの通り道を確認しようと試みている。また、コンピュータはピアノパートを生成しているほか、主にピアノの演奏情報の時間的な変化と空間配置を行っている。



仲井 朋子 プロフィール

神奈川県生まれ、作曲家。音響が生成される瞬間への関心から、コンピュータを介したパフォーマンスな作品に注目してきた。主に器楽とライブ・コンピュータ・システムのための作品を制作。近作は、青森 EARTH2014(青森県立美術館)でのインスタレーション、マテリアライジング展Ⅲ(京都市立芸術大学ギャラリー@ KCUA)での展示、また OPEN SITE 2016 - 2017(トーキョーワンダーサイト)にて Decibel New Music Ensemble と2日に渡るコンサートを企画、新作公演など様々な領域で活動している。国立音楽大学大学院音楽研究科修了。現在、東京芸術大学芸術情報センター、洗足学園音楽大学各講師。



八島 伸晃 プロフィール

神奈川県出身。3歳よりピアノを始め。桐朋学園大学音楽学部ピアノ科および作曲科卒業。ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンにてマリー＝カトリーヌ・ジローのマスタークラスを受講。New York City Electroacoustic Music Festival 2016 に自作品を出品。これまでにピアノを山田富士子、作曲を三瀬和朗、久木山道の各氏に師事。

林 恭平 HAYASHI Kyohei

## 電子音響映画

《Lemon Candy(Moon Down Action)》(2016)

音楽・映像：林 恭平



### 林 恭平 プロフィール

1984年福井県で生まれる。2012年、大阪芸術大学大学院作曲コース修了。セツ矢博貴、上原和夫、宇都宮泰、檜垣智也に師事する。少年時代より電子音楽の創作を行い、芥川龍之介の提唱する「話らしい話のない小説」を電子音、具体音によって表現した、文学性に富んだ電子音響作品は、国内外で多数、入賞、入選を果たし高い評価を得ている。また、音楽制作だけではなく、絵画、映像制作も同時に行っている。戦前の文学者を特に敬愛している。

### 主な受賞、入選、上演歴

Prix Russolo (フランス) 最優秀賞 第1位 受賞

Futura (フランス) 入選

International Computer Music

Conference 2013 (ICMC) (オーストラリア) 入選

elektramusik (ラジオ放送) (フランス)

Japan Electroacoustic Music Concert 国立国際美術館 (日本)

日本電子音楽協会会員 先端芸術音楽制作学会会員

日仏現代音楽協会会員

墮ちる。

いや、昇る。

どちらかわからず混迷を極める現代。いや、混迷していることにさえ気づきたくない心は、それ故に情報に埋もれ続けようとするのかもしれない。……、ということ自体にさえ、もはや気づきたくないのだろうか？

人は、観たくないものは、見ても、観ない。

そこで、人間は人間によって殺されようとしている。しかし、それで良いのかもしれない。「人間」がいなければ、地上に涙が落ちることは決していないのだから。

斬る。

だから、私は、眠りに入る直前、世界そのものを斬ってしまいたくなる衝動に駆られる。世界の像自体に斬り込みを入れて、そこから溢れ出る世界を泳いでみたい。

つまり、この作品は、現代日本版騎士道物語なのである！





宮木 朝子 MIYAKI Asako

## Landscape\_Montage\_Technique[f\_visual]

for video acousmatic (2016 初演)

映像：馬場 ふさこ

霧-水-光。ブラックアウトとホワイトアウト。全体的な持続音と幻聴のつぶやきが交わされるなか、光のスリットが瞬きながら間を切り裂くと、スクリーンは生成の場所へとひらかれながら白い光へとのみこまれてゆく。スクリーンにうかびあがる光の紋様と、音響スクリーンに投影される振動が浸透し合うことによって、意識のハレーションが生まれる。

この作品は2016年3月 Contemporary Computer Music Concert 2016 (東京 日仏学院)にて初演されたアコースマティック音楽「Landscape Montage Technique」に対して映像を付けたものである。音からひきだされるイメージの断片と、そこからさらに見出されたキーワードを共有しつつ、制作をおこなった。2016年7月 AMPHIBIAN Music / Video Series New York JSSA 音楽祭 2016 京都にて短いバージョンが初演された。今回はフルバージョンの初演となる。

★ Landscape Montage Technique (風景構成法)とは、精神科医中井久夫によって開発された非言語のコミュニケーション手段による芸術療法。



宮木 朝子 プロフィール  
作曲家。委嘱による器楽作品や光・映像・身体を伴う音響作品などを国内外で発表。東京都立芸術高等学校音楽科ピアノ専攻、桐朋学園大学音楽学部作曲専攻、同研究科卒。現代音楽協作曲新人賞、秋吉台国際作曲賞佳作、ICMC2016、入選。近作



に感覚ミュージアム常設インスタレーション作品《Shadow Rays 2013》(コンセプト・映像：奥村理絵)、光像・音像・香像によるOpera acousma #2《Teleceptor》構成・作曲、video acousmatic《残像花》(映像：馬場ふさこ / Full dome Festival 2015 Blauë Blume Award 受賞) など。早稲田大学創造理工学部、洗足学園音楽大学各講師。東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻修士課程(表象文化論分野) 在籍中。

馬場 ふさこ  
プロフィール

映像作家。モアレやシンメトリックをスタイルに心象表現・美しく情感豊かな映像を追い求める。テーマは「心を遊ばせる」「脳内散歩」、想像力を心地よく刺激し緩やかな時間を創造すること。コニカミノルタプラネタリウムでの短編作品上映をきっかけに全天周映像での表現が多くなり、2008年より Sapporo City Jazz、2010年より Tokyo Designers Week で毎年全天周映像の世界を展開するなど実績多数。



<http://fiore-luma.com/about-fusako-baba>

大谷 安宏 OTANI Yasuhiro

## Reverie #4

for solo Electric Guitar and programming (2016 初演)

Reverieは、ギターのための作曲シリーズ。大谷 安宏 作曲、演奏。

演奏はスコアによって進行し、プログラミングはギターの音によってトリガーされる。ギターのサウンドに自由に倍音を組み合わせ、さらに削り取る仕組みがプログラミングされている。

さまざまな演奏会場の環境にあわせて操作することを前提に、音を削り取るタイミングやリバーブ処理に若干の即興性をもたせた。



### 大谷 安宏 プロフィール

作曲家、ギターリスト。プログラミングによる音楽表現を専門として国内外にて活動。日本作曲家協議会会員、日本電子音楽協会会員、ブルメリアミュージックスクール講師。主な活動歴に、ロックフェロー財団日米芸術交流プログラム助成アーティスト、2015年アルスエレクトロニカ2016 / Forum Wallis 入賞、2016年ニューヨーク・フィルハーモニー・ピエンナーレなどがある。

## 由雄 正恒 YOSHIO Masatsune

### 盗まれた時間

— クラリネットとコンピュータのための (2016 初演)

クラリネット：満江 菜穂子

デジタル映像表現の一つである TIME RIMAP — 映像の時間の流れを変化させる技法 — の視覚表現を、音楽でも似たような表現ができないものだろうか？ から始まり、大きな視点では時間芸術における音楽とは？ 小さな視点では音楽のリズムとは？ がこの作品のテーマとなっている。作品のタイトルは音楽用語の *tempo rubato* の和訳であるが、この曲は四分音符=60、62 など細かく指定されており、決められたテンポで演奏することが要求される。旋律生成においては、チューレニン音階に用いられるノートが持つ親和性に基づいた音階自動生成プログラムを使用。リズムにおいては、チャクラのソルフエジオ周波数の組み合わせから生まれる周期の 0 地点を拍点としてリズムが自動生成されるプログラムを使用。また、この周波数は、旋律の主音とセクションの長さにも応用され - 例えば、第1チャクラの 396Hz はその近似値からチューレニン音階の主音として G を導き出し、セクションは 40 秒の長さになっている - 合計7つのセクションが経過句と間奏を挟み切れ目なく演奏される。このソロの演奏とともに発せられる電子音響はリアルタイム音響処理によって生成され 8ch スピーカによって投影される。電子音響は、時間の流れの変化、ずれ、といった現実世界では起こりえない、ちょっと不思議な空間を生み出す役目を担っている。



#### 由雄 正恒 プロフィール

神戸出身。作曲家、メディアマスター No.75。コンピュータによる芸術作品の創作を専門とし、アルゴリズム・コンポジション、音響合成、ライブエレクトロニクス、メディア表現を題材にした創作研究を行っている。昭和音楽大学作曲学科、IAMAS アートアンドメディア・ラボ科を卒業。電子音響作品は、国内外 (ICMC、FUTURA、CCMC、FAF 等) において演奏される。日本作曲家協議会、先端芸術音楽創作学会、日本音楽即興学会、情報処理学会音楽情報科学研究会会員、日本電子音楽協会理事、昭和音楽大学准教授。



#### 満江 菜穂子 プロフィール

昭和音楽大学大学院修了後、オランダ、デン・ハーグ王立音楽院に留学。18 世紀オーケストラ、フライブルク・バロック・オーケストラなどの演奏会に参加。帰国後、東京文化会館において有田正広指揮クラシカル・プレイヤーズ東京とモーツァルトの協奏曲を共演し「音楽の友」などで高く評価された。

これまでにクラリネットを堀川豊彦、山本正治、野田祐介、中村克己の各氏に、歴史的クラリネットをエリック・ホーブリッチ氏に師事。現在、昭和音楽大学専任講師。

水野 みか子 MIZUNO Mikako

## Lipochrome

ピアノとエレクトロニクスのための(2016 改訂初演)

ピアノ: 坂口 仁菜

リポクロームは自然の動植物に含まれる脂質を含む天然色素の名称で、総黄色野菜や魚介類に含まれる黄色や橙色の色素のこと。ビタミンA、リコピン、ルテインなどの栄養となり、身体にはとてもよいそうです。黄色くて健康にいい、というイメージでこの作品を作曲しました。バイオリジカルなイメージから出発して作曲するのは私にとっては初めての試みでした。食物は聴覚とは異なる感覚器官、主に味覚に作用して、精神や肉体を変えていきますが、聴覚上で受け止められる、より抽象的な刺激は、速度、遠近、広狭、形、運動に関して、現実世界から離れた、より自由な設定を可能にしてくれます。作曲中は、肉体的な変化と超現実(または脱現実)空間での変化が表裏一体に接しているところに身を浸しました。ピアノとエレクトロニクスが、響きの点でも音楽構成の点でも有機的に関わりあうためにはシステムの上でも音楽的にも、細々とした「さじ加減」のような工夫が必要ですが、少しでも理想的状況に近づければありがたいことです。



### 水野 みか子 プロフィール

作曲と音楽学の分野で活動を展開。2011-2013年、カナダ、ニュージーランド、シンガポール、中国、台湾と名古屋を結ぶ「ネットワークコンサート」を実現。近作に、『尺八、箏とオーケストラのためのグレイオドマイア』(2012)、IanniXのための『Trace the City』(2014)、ヴァイオリンとエレクトロニクスのための『Andata e ritorno del flusso luminoso』(2016)などがある。2016年にはパリ・ソルボンヌ大学招聘研究員および国際音楽学研究組織 IReMus メンバーとして日仏電子音楽に関する研究を推進。EMS (Electroacoustic Music Studies) 2017年大会実行委員長。名古屋市立大学芸術工学部芸術工学研究科教授。

### 坂口 仁菜 プロフィール

第23回JPTA B級 本選優秀賞、第23回和歌山音楽コンクール 高校の部3位、第10回宝塚ベガ学生コンクール 高校の部 奨励賞、第30回 愛知ピアノコンクール 大学一般の部 金賞 中日新聞社賞、第14回 大阪国際コンクール ピアノ部門 ファイナル 入選 第45回 堺市新人演奏会 最優秀賞を受賞。大学在学中、学内選抜によるピアノ名曲コンサート、オープンキャンパス演奏会、定期演奏会、卒業演奏会、室内楽の楽しみに出演。これまでに大友聖子 田中真理 エフゲニー・ザラフィアンツ 関本昌平 中川知匡の各氏に師事。大阪府立夕陽丘高等学校 音楽科、愛知県立芸術大学音楽学部を経て、現在同大学大学院 博士前期課程 鍵盤楽器領域1年にて鈴木謙一郎氏に師事。



# ルドガー・ブリュンマー Ludger Brümmer



ルドガー・ブリュンマー プロフィール

ZKM音楽・音響研究センター ディレクター

1958年ドイツ生まれ。エッセンフォルクヴァング芸術大学にてニコラウス・A・フーバーとダーク・ライスの下で作曲を学ぶ。オランダ、ハーグのダンスシアターにて振付師スザンヌ・リンケのバレエ音楽や、建築家でインスタレーション作家のクリスチャン・メラウのエキシビジョン（東京、リスボン、ロンドン科学博物館など）で音楽を担当した。

1991年から1993年まで、ドイツ学術交流会 (DAAD) 給付生として米国スタンフォード大学のコンピュータ音楽音響研究センター (CCRMA) に滞在。2000年、ロンドンのキングストン大学の研究員となり、2002年からはベルファストのソニック・アーツ・リサーチ・センター (SARC) 作曲科にて教授を務めた。2003年より現職。

また、日本やアテネ、モントリオールの著名な文化機関、パリのINA-GRM、ベルリンの音楽祭インヴェンション、リンツのアルスエレクトロニカなどから招待を受けるほか、近年は南米やアメリカ合衆国、中国などにおいてもコンピュータ音楽、ビデオの領域で国際的に活躍している。2009年、ベルリンの芸術アカデミー会員に選出。これまでに、Folkwang Preis 賞、WDR 賞、Busoni 賞、アルスエレクトロニカにて Goldene Nica 賞、Luigi Russolo 賞、ICMA Commission 賞、プールジュ国際電子音楽コンクールにて2度の最優秀賞などを受賞。

## Deconstructing Double District for multi-channel audio and video (2011)

ビデオ：フォルカー・クッヘルマイスター  
Video: Volker Kuchelmeister

*Deconstructing Double District* は、ダンサー、演出家そして振付家の勲使川原三郎と、メディア・アーティストで研究者のフォルカー・クッヘルマイスターによる立体視のためのインスタレーション、*Double District* (2008) の映像に基づいている。本作品は、この映像に空間的音響をつけ加えた。ユーザーの入力によって、3次元の抽象的象が継続的に変化する映像が生み出されるが、同時に音響も同様のパラメーターから生成され、本コンサートのために8チャンネルの空間に構成されている。



## Spin

for multi-channel audio and video (2014)

ビデオ：ベルント・リンターマン

Video: Bernd Lintermann

私はグラニューラーシネシスや物理モデルなどの手法を使っているうちに、「ノイズ」という多かれ少なかれ既によく知られている音響に興味を持つに至った。この作品においては、私は「デジタルノイズ」を出発点としており、ビデオファイルの映像データを直接サウンドエディターへ読み込むことで、映像データの生の構造を聴覚化している。

その際、周期的なデータを重点的に取り出し、それをピッチにしたり、繰り返される音の構造として素材化した。これらの音素材は変形された後に、私が用意した作曲アルゴリズムの中へ投げ込まれ、また重ね合わされ、結果としてヒスノイズから分厚くダーティーなまでの広範囲な音響が得られた。そこに弦楽器や、変形された声の音声データを組み合わせることで、私は謂わば一つの「ノイズを体験する」物語をつくりだした。オリジナルの音響の空間配置は、組み合わされた32個のスピーカーで構成されたが、本バージョンでは8チャンネルに再構成されており、スピーカーのグループがコンサートホール内をあたかも動き回るかのような効果を狙っている。このことから、聴取者は鳥瞰図を見るようにマクロな、そして顕微鏡を見るようにミクロな、更に個々のシナリオに沿って、その他様々な特徴を持った音世界を体験することになる。この作品は3Dプロジェクションのためにつくられたが、本バージョンは2Dに編集されている。



# 日本電子音楽協会

日本電子音楽協会 第20回記念演奏会

Akustische Vordergrund aus Japan und Deutschland

音響の最前線、日本とドイツより

主催：日本電子音楽協会 (JSEM)

後援：先端芸術音楽創作学会 (JSSA)

音響：中原 楽 (ルフトワーク)

機材協力：三友株式会社

映像エンジニア：釣田 勇弥

録音：加藤 晴都 (サウンドイン スタジオ)

フライヤー・パンフレットデザイン：小阪 淳

## 新入会員随時募集

正会員1名の推薦が必要。

活動歴、作品歴、推薦者の署名入りの入会申込書を事務局宛に送付。

詳しくは web をご覧ください。

<http://jsem.sakura.ne.jp/>